

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 成人看護学分野
科目コード:240003

急性期病態治療学特論 Clinical Pathophysiology / Management of Critically ill Patients

担当教員	紺家 千津子				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	急性期病態、生理学的変化、医学的介入、早期リハビリテーション				
学習目的・目標	《学習目的》 呼吸・循環・代謝・創傷の病態の変化を理解すると共に、患者のアセスメントができる知識を修得する。 《学習目標》 1. 急性期の生理学的変化と病態を理解ができる。 2. 急性期病態患者のアセスメントができる。 3. 医学的介入による回復が理解でき、看護援助へ結びつけることができる。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	オリエンテーション、急性期医療における看護師の役割			講義	紺家
2	急性期医療における看護の専門性と病態生理との関係			講義	紺家
3	身体侵襲			講義	紺家
4	身体侵襲と生体反応			講義	紺家
5	呼吸不全の病態と管理			講義	紺家
6	循環不全の病態と管理①			講義	紺家
7	循環不全の病態と管理② 心不全ガイドライン			講義	紺家
8	消化器疾患の病態と管理①			講義	紺家
9	消化器疾患の病態と管理②			講義	紺家
10	泌尿器疾患の病態と管理			講義	紺家
11	創傷治癒過程と管理			講義	紺家
12	SSIの病態と管理			講義	紺家
13	熱傷・外傷の管理			講義	紺家
14	急性期リハビリテーション①			講義	紺家
15	急性期リハビリテーション②			講義	紺家
教科書	随時提示する。				
参考図書等	随時提示する。				
評価指標	出席によるディスカッション40%、最終レポート60%				
関連科目	成人看護学特論 急性期援助論 急性期看護学演習				
教員から学生へのメッセージ	知識の習得のみならず、患者を診て適切な判断と対応ができることを目指します。				